

全国市民オンブズマン連絡会議が作成する、警察裏金・不正支出問題の特設ページです。

今後のイベント＋シンポジウム予定

25/12/13（土）13時半～ 公益通報者保護法は内部告発者を守っているか？
（四谷スポーツスクエア）

警察官による公益通報が相次ぎましたが、公益通報者は公益通報者保護法に基づき守られたのでしょうか。警察官 OB と市民オンブズマンの弁護士で作る「明るい警察を実現する全国ネットワーク」が市民集会を行います。ぜひご参加ください。
<https://www.ombudsman.jp/policedata/251213.pdf>

第14回警察ネット市民集会 公益通報者保護法は内部告発者を守っているか？

昨年に続いて、広島県警の内部告発（公安警察の旅費・日当の不正経理事件）と鹿児島県警の内部告発（現職警察官が起こした犯罪を本部長がもみ消そうとした事件）のその後の報告と討論。組織の不正、トップの不正は内側からは変えられない！公益通報制度の限界と内部告発者を守ることの重要性について議論する。新たに2つの問題提起。1つは、深夜、視覚障害者夫婦の家に数人の警察官が無言で上がり込んで、「何が悪い！」事件。地裁は違法、高裁は適法と判断。もう1つは、警察署の留置場のごはんはかなりひどいらしい。これでいいのかというレポート。

- ・主催：明るい警察を実現する全国ネットワーク
- ・日時：2025年12月13日（土）13：30～16：30
- ・場所：四谷スポーツスクエア地下1階会議室 Y（都内 JR 四ツ谷駅徒歩2分）
<https://yotsuya-sports-square.jp/>
- ・参加費：千円
- ・内容：
 - ・I 事件報告
 - ・警察署留置場のごはんの大問題（千葉県警）増田利昭弁護士（東京弁護士会）
 - ・警察官深夜無断侵入事件（神奈川県警）原告
 - ・警備課旅費・日当ネコババ事件の顛末（広島県警）栗根康智氏（元警察官）
 - ・県警本部長犯罪もみ消し事件（鹿児島県警）野平康博弁護士（鹿児島県弁護士会）
 - ・II 鼎談～公益通報と内部告発
 - ・高田昌幸氏（フロンティアプレス代表）
 - ・栗根康智氏（元警察官）
 - ・清水勉弁護士（東京弁護士会）
- ・チラシ <https://www.ombudsman.jp/policedata/251213.pdf>
- ・【問い合わせ先】
 - ・〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町7番9号
 - ・四谷ニューマンション 309 さくら通り法律事務所内
 - ・明るい警察を実現する全国ネットワーク事務局
 - ・弁護士 清水 勉、同 出口かおり TEL 03(3353)3399

最近のニュース

■ 25/10/25-26 「47 都道府県警『再就職』一覧表 開示請求結果から見えてくるもの」発表

25/10/25-26 に行う第32回全国市民オンブズ 大大阪大会 2025 で「47 都道府県警『再就職』一覧

表 開示請求結果から見えてくるもの」を公表します。<https://ombuds2025.peatix.com/>

以下、今回各県警に情報公開請求した令和5年度再就職一覧表をすべてネット上にアップしました。[\[令和5年度各都道府県警再就職一覧表 アップしました \]](#)

■ 全都道府県警に「2023年度退職者（警視以上）再就職状況一覧表」を情報公開請求

全国市民オンブズマン連絡会議は、25/3/31までに全都道府県警に対し、「令和5年度に離職した再就職者（離職日の前日に警視以上の階級（同相当職を含む））の再就職状況がわかるもの（氏名、離職時の職名、離職日、再就職先の名称、再就職先の役職名、再就職日）一覧表を情報公開請求しました。（ネット上に掲載されているものを除く）

2025/10/25（土）26（日）大阪ドーンセンターで開催する第32回全国市民オンブズマン大阪大会で、開示された内容を分析・発表予定です。https://www.ombudsman.jp/taikai_category/no32

■ 24/12/21（土）警察×内部告発！正義はどっち？裏切りはどっち？

「明るい警察を実現する全国ネットワーク」は24/12/21（土）13時半～ 主婦会館にて 第13回警察ネット市民集会「警察×内部告発！正義はどっち？裏切りはどっち？」を開催します。ぜひご参加下さい。<https://www.ombudsman.jp/policedata/241221.pdf>

当日配付資料 <https://www.ombudsman.jp/policedata/241221-1.pdf>

- ・日時：2024年12月21日（土）13：30～16：30
- ・場所：主婦会館（都内・JR四ツ谷駅麹町口改札から徒歩1分）4階「シャトレ」
<https://plaza-f.or.jp/access>
- ・参加費：千円
- ・内容
 - ・I 事件報告
 - ・警備課旅費・日当ネコババ事件（広島県警）
 - ・警備課情報漏えい事件（岐阜県警）ほか
 - ・II 鼎談～警察と内部告発
 - ・高田昌幸氏（フロンティアプレス代表）
 - ・Z氏（元広島県警警察官）
 - ・清水勉弁護士（東京弁護士会）
 - ・主催：明るい警察を実現する全国ネットワーク <https://www.ombudsman.jp/akarui>

警察ネット初代代表の原田宏二さんが北海道警全体に蔓延していた捜査費裏金の実態を内部告発した2004年2月から20年余。日本の警察は変わったか。

岐阜県警は公安警察がひそかに市民の個人情報をもとに企業と提供し合っていたことが発覚して裁判を起こされたが、非を認めないまま敗訴が確定。広島県警は公安警察の旅費・日当の不正経理の内部告発を揉み消そうとし続けている。鹿児島県警は現職警察官が起こした犯罪を本部長がもみ消そうとしているとして元警察官が内部告発すると、犯罪者扱いで反撃して来た。警察と内部告発者。正義はどっちにある？裏切りはどっちだ？

公益通報者保護法（2004年成立）はトップの不正、組織ぐるみの不正には役立たない。内部告発は組織の不正を正せるか、内部告発者は守れるか？

■ 24/9/1(日) 47 都道府県警「再就職」一覧表開示請求結果から見えてくるもの

全国市民オンブズマン連絡会議 事務局の内田隆は、24/9/1 に行われた第 31 回全国市民オンブズマン大阪大会 2024 で「47 都道府県警『再就職』一覧表 開示請求結果から見えてくるもの」を発表しました。

- ・ 発表動画 <https://www.youtube.com/watch?v=r12wyQYpWQk>
- ・ 資料集掲載資料 <https://www.ombudsman.jp/policedata/240831police.pdf>
- ・ パワーポイント <https://www.ombudsman.jp/policedata/240831police-1.pdf>

詳細は [\[47 都道府県警「再就職」一覧表 開示請求結果から見えてくるもの\]](#)

- ・ 第 31 回全国市民オンブズマン大阪大会

https://www.ombudsman.jp/taikai_category/no31

■ 全都道府県警 + 警察庁に「再就職状況一覧表」を情報公開請求

全国市民オンブズマン連絡会議は、24/3/29 までに全都道府県警 + 警察庁に対し、「平成 14 年度 - 令和 4 年度に離職した再就職者（離職日の前日に警視以上の階級（同相当職を含む））の再就職状況がわかるもの（氏名、離職時の職名、離職日、再就職先の名称、再就職先の役職名、再就職日）一覧表を情報公開請求しました。

何が記載されているか、何年保存なのかを調査します。その上で、開示された内容を分析する予定です。

■ 令和 4 年度愛知県警再就職一覧表入手

全国市民オンブズマン連絡会議は、愛知県警の令和 4 年度に、警視以上で再就職した警察職員の再就職一覧表を情報公開窓口でコピーして入手しました。

- ・ 愛知県警 令和 4 年度愛知県警再就職一覧表

<https://www.ombudsman.jp/policedata/R4aichi.pdf> 愛知県警は、「愛知県警察職員の再就職に関する要綱」「愛知県警察職員の退職管理に関する規定」を定めており、毎年 4 月に一覧表にして、愛知県警住民サービス課情報公開センターで公表しています。
<http://www.ombudsman.jp/policedata/aichisaisyusyoku.pdf>https://www.pref.aichi.jp/police_reiki/reiki_honbun/u393RG00000182.html

愛知県警の再就職一覧表は、定期的に入手しています。

- ・ 愛知県警再就職一覧表
 - ・ 平成 24 年度 <http://www.ombudsman.jp/policedata/H24aichi.pdf>
 - ・ 平成 25 年度 <http://www.ombudsman.jp/policedata/H25aichi.pdf>
 - ・ 令和元～3 年度 <https://www.ombudsman.jp/policedata/230407.pdf>

・ 名古屋市民オンブズマン 警察問題ページ

<http://www.omnagoya.gr.jp/tokusyuu/police/index.htm>

■ 23/12/16 警察ネット市民集会は大成功

「明るい警察を実現する全国ネットワーク」は、23/12/16（土）に東京・主婦会館で「第12回警察ネット市民集会 原田宏二さんとともに警察組織、警察活動のあり方を語る会」を4年ぶりに開催し、大成功しました。

・ 2023 年 12 月 16 日 警察 ネット 市民 集会 清水 勉 弁護士 による 報告

<https://www.ombudsman.jp/policedata/231216-1.pdf>

資料・奪われずに済んだ命を奪った18分間 富 ⼭ 県警奥 ⽥ 交番襲撃事件 弁護 ⼠ 清 ⽔ 勉 <https://www.ombudsman.jp/policedata/231216-2.pdf>

・ 警察内部でのパワハラ自殺 弁護士 市川守弘 <https://www.ombudsman.jp/policedata/231216-3.pdf>

・ ご報告（高田昌幸フロンティアプレス代表）<https://www.ombudsman.jp/policedata/231216-4.pdf>

■ 23/12/16（土）警察組織、警察活動のあり方を語る会（東京）

「明るい警察を実現する全国ネットワーク」は、23/12/16（土）午後1時半から、東京・主婦会館で「第12回警察ネット市民集会 原田宏二さんとともに警察組織、警察活動のあり方を語る会」を4年ぶりに開催します。<https://www.ombudsman.jp/policedata/231216.pdf>

どなたでも参加出来ます。ぜひご参加下さい。

■ 第12回警察ネット市民集会

原田宏二さんとともに警察組織、警察活動のあり方を語る会

一昨年12月、初代警察ネット代表の原田宏二さん（元北海道警警察官）が急逝しました。「警察官には労働基本権がない」「現場の警察官の相談に乗ってやる場がない」という原田さんの嘆きがきっかけで警察ネットが始まりました。原田さんは警察組織に長年いた経験と新たに身に着けた知識をフルに活用して、現場の警察官のため警察に苦しめられている市民のために全力疾走し、多くの成果を挙げて来ました。その走りはまだまだ続くはずでした。私たちは原田さんの思いを引き継いで活動을続けて行きたいと考えています。

・ 主催：明るい警察を実現する全国ネットワーク

・ 日時：2023年12月16日（土）13：30～16：30

・ 場所：主婦会館（都内・JR四ツ谷駅麹町口改札から徒歩1分）4階「シャトレ」
<https://plaza-f.or.jp/access>

・ 参加費：千円

・ 内容：1 事件報告

・ 奥田交番けん銃強奪国賠訴訟（富山県警）

・ 警備課旅費・日当ネコババ事件（広島県警）

- ・警察官自殺国賠訴訟（熊本県警・愛知県警・兵庫県警）ほか
- ・2 原田さんにお世話になった人たちからのメッセージ
- ・3 鼎談～原田宏二さんの思いをつなぐ
 - ・高田昌幸氏（元北海道新聞記者）
 - ・市川守弘弁護士（旭川弁護士会）
 - ・清水勉弁護士（東京弁護士会）

■ 広島県議会警察委員会で県警カラ出張に関して質問

調査報道グループ・フロンティアプレスがスクープした、広島県警福山市内の警察署警備課でのカラ出張の疑いに関し、23/8/18 広島県議会警察・商工労働委員会で質問がなされました。

【広島県議会】令和5年8月18日 警察・商工労働委員会 youtube https://www.youtube.com/live/V9i2eCa6BMk?si=RyK_tHRysb1YdDT7&t=596

【広島県議会】令和5年8月18日 警察・商工労働委員会 全国市民オンブズマン連絡会議による、半自動文字起こしアプリによる文字起こし <https://www.ombudsman.jp/policedata/230818.pdf>

広島県警は「現在調査捜査を進めていく。不正行為が判明した場合、事実関係に即し厳正に対処する。懲戒処分を行った場合、懲戒処分の発表の指針に従い、速やかに公表をする」とのこと。

質問した加納孝彦県議は「旅費の不正な請求等が事実であれば、県民の信頼を著しく損なうものであり、極めて憂慮すべき事態であると懸念する。適正な調査捜査活動を通じて事実関係の改善に努められるとともに、万一不適正な行為として公表の基準に達するような事態となった場合には、県民への説明を尽くしていただき、信頼の回復に努めていただくよう強く要望する」と述べました。

----- スローニュース 広島の警察で「カラ出張」 <https://slownews.com/m/m36a9b299bd2c>

■ 広島県警でカラ出張の疑いとフロンティアプレスがスクープ

調査報道グループ・フロンティアプレスが、広島県警の福山市内の警察署の警備課でカラ出張の疑いがあった、広島県警は公益通報（内部告発）を最近まで放置していたとスクープしました。
<https://slownews.com/>

第4弾（有料版）によれば、不正を正そうとする警察官に対し、組織の上層部は「特定秘密保護法違反」に言及しながら口封じを図ったといいます。

フロンティアプレスはまだまだスクープ記事を出し続けるようです。

市民オンブズマンとして何ができるか考えます。

-----2023年8月1日 12:00 SlowNews | スローニュース【広島県警「カラ出張」】【スクープ】
広島の警察で“カラ出張”の疑い 県警は内部告発を最近まで放置か <https://slownews.com/n/na47fe5af05ba>

2023 年 8 月 1 日 12:00 SlowNews | スローニュース【広島県警「カラ出張」】【スクープ】警察内部で「エアー」と呼ばれた“カラ出張”の方法を明らかにする <https://slownews.com/n/n1073539f791e>

2023 年 8 月 2 日 12:00 SlowNews | スローニュース【広島県警「カラ出張」】【スクープ】過去にも露見しかけた警察の「カラ出張」 どうやって握り潰したか <https://slownews.com/n/n6cb51c5c2b36>

2023 年 8 月 2 日 12:00 SlowNews | スローニュース【広島県警「カラ出張」】【スクープ】「監察が投書の内容を教えてくれた」警察“カラ出張”への箝口令はどのように <https://slownews.com/n/n76161bfc04e7>

----- ・ 広島県警察 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police/>

・ 広島県公安委員会 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kouan/> 定例会議の開催概要(令和4年10月26日) ○公益通報(外部通報)に係る調査結果について令和4年6月10日に受理した公益通報(外部通報)の調査結果について説明を受け、決裁した。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kouan/kai-gijiroku4-10-26.html> ・ 令和4年5月31日 広島県警察公益通報処理要綱の一部改正について <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/491495.pdf>

■ 岐阜県警 OB から依頼等を受けた場合の届出書 不存在

名古屋市民オンブズマンは、地方公務員法第38条の2第7項および「岐阜県職員の退職管理に関する規則」第13条の規定に基づき、岐阜県警察職員から届けられた「再就職者から依頼等を受けた場合の届出書」を情報公開請求したところ、不存在決定が出ました。
<https://www.ombudsman.jp/policedata/230428.pdf>

岐阜県警はOBの再就職先を一覧表にして閲覧に供しています。名古屋市民オンブズマンは情報公開請求で入手しました。・岐阜県警 令和元～4年度再就職一覧表
<https://www.ombudsman.jp/policedata/230421.pdf>

一方、地方公務員法第38条の2第7項および「岐阜県職員の退職管理に関する規則」第13条では、「離職前五年間の職務に属するものに関し、離職後二年間、職務上の行為をするように、又はしないように要求し、又は依頼してはならない。」「職員は、禁止される要求又は依頼を受けたときは人事委員会にその旨を届け出なければならない。」とされています。
<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=325AC0000000261> <https://ops-jg.d1-law.com/opensearch/SrJbF01/init?jctcd=8A856599AA&houcd=H428909130008&no=1&totalCount=1&jbnJiten=5050502>

今回岐阜県人事委員会にはじめて「届出書」を情報公開請求しましたが、不存在でした。多数の県警OBが天下り先で何をしているか不明です。

なお、岐阜県職員OBに関しても同様に「届出書」を情報公開請求しましたが、不存在でした。
<https://www.ombudsman.jp/policedata/230428.pdf>

■ 令和元～4年度岐阜県警再就職一覧表入手 中部電力子会社に天下りも

全国市民オンブズマン連絡会議は、岐阜県警の令和元～4年度に、所属長以上で再就職した警察職員の再就職一覧表を情報公開請求で入手しました。・岐阜県警 令和元～4年度愛知県警再就職一覧表 <https://www.ombudsman.jp/policedata/230421.pdf> 令和元年度に中部電力パワーグリッド(株)岐阜支社の総務部調査役に再就職していたことが判明しました。その他各種企業・団体に再就職しています。

岐阜県警は、「岐阜県警察職員の再就職に関する要綱」に基づき、所属長以上で再就職した警察職員の再就職一覧表を作成し、情報公開窓口で公表しています。・岐阜県警察職員の再就職に関する要綱の制定について(通達) <https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/275480.pdf> 岐阜県警の平成23年度-25年度分再就職一覧表は、以前情報公開請求して入手しています。・岐阜県警再就職一覧表 平成23年度 <http://www.ombudsman.jp/policedata/H23gifu.pdf> 平成24年度 http://www.ombudsman.jp/policedata/H24_gifu.pdf 平成25年度 <http://www.ombudsman.jp/policedata/H25gifu.pdf> 平成26-30年度分の再就職一覧表をお持ちの方はご連絡下さい。

■ 令和元～3年度愛知県警再就職一覧表入手 中部電力・同子会社に天下りも

全国市民オンブズマン連絡会議は、愛知県警の令和元～3年度に、警視以上で再就職した警察職員の再就職一覧表を情報公開請求で入手しました。・愛知県警 令和元～3年度愛知県警再就職一覧表 <https://www.ombudsman.jp/policedata/230407.pdf>

令和元年度に中部電力(株)名古屋支店の調査役、令和2年度に(株)シーテックの総務部調査役、令和3年度に中部電力(株)の調査役に再就職していたことが判明しました。その他各種企業・団体に再就職しています。

愛知県警は、「愛知県警察職員の再就職に関する要綱」「愛知県警察職員の退職管理に関する規定」を定めており、毎年4月に一覧表にして、愛知県警住民サービス課情報公開センターで公表しています。

<http://www.ombudsman.jp/policedata/aichisaisyusyoku.pdf>https://www.pref.aichi.jp/police_reiki/reiki_honbun/u393RG00000182.html

愛知県警の平成24年度-25年度分再就職一覧表は、以前情報公開請求して入手しています。・愛知県警再就職一覧表 平成24年度 <http://www.ombudsman.jp/policedata/H24aichi.pdf> 平成25年度 <http://www.ombudsman.jp/policedata/H25aichi.pdf>

平成26-30年度分の再就職一覧表をお持ちの方はご連絡下さい。

----- 岐阜県大垣市での風力発電施設建設をめぐり、岐阜県警が風力発電反対住民や関係のない市民運動家、法律事務所関係者の個人情報入手し、中部電力子会社「シーテック」に漏えいした件で、岐阜地裁は「シーテックへの情報提供は違法」「情報収集は違法とまではいえない」として、22/2/21に4人の原告にそれぞれ55万円の損害賠償を認めました。現在名古屋高裁で控訴審が行われています。・大垣警察市民監視違憲訴訟の勝利をめざす「もの言う」自由を守る会 <https://monoiujiyu-ogaki.jimdofree.com/>

■ 22/9/24 (土) 25 (日)「原田宏二さんの “ 仕事 ”」

第 29 回 全国市民オンブズ米子大会 2022 (オンライン)<https://220924-25.peatix.com/>

原則オンライン参加です。どなたでも参加出来ます (無料)

- ・ 22/9/24 (土) 13 時 ~ 全国大会全体会 (米子ビッグシップ + Zoom ウェビナー)
- ・ 原田宏二さんの “ 仕事 ”
- ・ 22/9/25 (日) 9 時 ~ 分科会
- ・ 警察分科会 - 原田宏二さんと考える安倍元首相狙撃事件
- ・ (元北海道警釧路方面本部長で、市民団体「明るい警察を実現する全国ネットワーク」前代表の原田宏二さんが病気のため 21/12/11 に 83 歳で亡くなりました)

■ 19/12/21 (土) 警察の現実から目をそらすな !! 『元警察官僚・原田宏二の仕事』

明るい警察を実現する全国ネットワーク主催 第 1 1 回市民集会

警察官に奉職し、巡査から北海道警方面本部長にまで上り詰めて退職し悠々自適の隠居生活を送っていた原田宏二の警察 O B 人生は、2003 年 11 月、北海道新聞による北海道警捜査費裏金追及報道をきっかけに一転した。裏金追及報道に行き詰まりかけた 2004 年 2 月、原田は、意を決して、北海道警の組織的不正経理を認める内部告発を行った。以後、原田は警察組織や活動の問題を指摘する書籍『警察内部告発者』(文庫本では『たたかう警官』)『警察 VS 警察官』『警察崩壊』『警察捜査の正体』などを次々に出版する一方で、警察相手の国賠訴訟などで原告側からの相談に乗り、警察の実情を説明する意見書を書いたり法廷で証言したりするようになった。そしていくつもの裁判で原告を勝訴に導いた。原田をここまで突き動かしたものは何だったのか。改めて、15 年前の内部告発を、当時、北海道新聞の社会部デスクとして道警裏金追及を指揮していた高田昌幸 (現・東京都市大学教授) との対談を通して振り返る。メディア関係者、警察関係者、弁護士、一般市民だれもが驚愕する事実が明らかになる。

- ・ 日 時 : 2019 年 12 月 21 日 (土) 午後 1 時 30 分 ~ 4 時 30 分
- ・ 場 所 : 弘済会館 4 階「菊」(東京都千代田区麹町 5-1 TEL 03-5276-0333) 交 通 : JR 中央線・総武線「四ツ谷駅」麹町出口 徒歩 5 分地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷駅」1 番出口 徒歩 5 分 <http://www.kousaikai.or.jp/hall/access/>
- ・ 参加費 : 1000 円
- ・ 内 容 : 警察ネットの活動報告 鼎談 : 『元警察官僚・原田宏二の仕事』原田宏二氏、高田昌幸氏、(進行) 清水 勉
- ・ チラシ <https://www.ombudsman.jp/policedata/191221.pdf>
- ・ 主催 : 明るい警察を実現する全国ネットワーク <http://www.ombudsman.jp/akarui/>

■ マグライトは「凶器」か？杉並署・職務質問事件

<http://www.ombudsman.jp/policedata/maglite.pdf>

2019 年 12 月 7 日、杉並署の警察官 3 人組 (警部補、巡査長、巡査) が、仕事の移動の合間に駐車場に停めた乗用車の中で仮眠している男性を起こし、男性が車内に持っていたマグライト (大きい懐中電灯) を一方的に「凶器」と決めつけ、男性から取り上げた。このまま警察署に来るよう言われた男性は、直後に仕事が入っていたことから、「別の日にして欲しい」と頼み、後日、出頭を約束させられて、その場から何とか解放された。しかし、懐中電灯を持っていたことが犯罪とされたことに納得できず、警察ネットに相談した。

弁護士は A 氏の弁護人として以下の点が問題だと杉並署に書面で指摘した。

1. 警察官職務執行法第 2 条で規定する職務質問の要件（「異常な挙動その他周囲の事情から合理的に判断して何らかの犯罪を犯し、若しくは犯そうとしていると疑うに足りる相当な理由のある者又は既に行われた犯罪について、若しくは犯罪が行われようとしていることについて知っていると認められる者」）を充たしていない
2. 警察官に車内を物色する権限はない
3. 警察官は A 氏に「駄目なんですよ」と言っただけで、罪名を告げていない
4. 任意提出書を作成していない
5. 領置調書を作成していない
6. 所有権放棄書を作成していない
7. A 氏は所有権に基づいてマグライトの返還を求める
8. 警察官らは A 氏宅を確認するための A 氏の同行を求めているが、その法的根拠は
9. 警ら勤務の警察官が 3 人だったのは最も若い警察官の実施訓練だったのではないか

弁護人として繰り返し杉並署に問い合わせたが、全く回答なしだった。そこで警視総監宛てに通知すると、間もなく杉並署の H 警部補から電話があり、弁護人が署に赴くと、マグライトの還付（返還）を受けることができた。説明も謝罪もなかった。

- ・ 2019 年 12 月 20 日 杉並警察署長宛て申入れ書

<http://www.ombudsman.jp/policedata/maglite-1.pdf>

- ・ 2019 年 12 月 26 日 杉並警察署長宛て申入れ書

<http://www.ombudsman.jp/policedata/maglite-2.pdf>

- ・ 2020 年 1 月 17 日 杉並警察署長宛て申入れ書

<http://www.ombudsman.jp/policedata/maglite-3.pdf>

- ・ 2020 年 1 月 21 日 杉並警察署長宛て申入れ書

<http://www.ombudsman.jp/policedata/maglite-4.pdf>

- ・ 2020 年 2 月 4 日 警視総監宛て申入れ書

<http://www.ombudsman.jp/policedata/maglite-5.pdf>

■ 19/9/29（日）『市民と警察』分科会（岐阜）

第 26 回市民オンブズ全国大会 in 岐阜・2019 は、2019/9/28（土）午後 1 時～ 6 時 29（日）午前 9 時～ 12 時に岐阜市じゅうろくプラザで開催予定です。2 日目 29（日）午前 9 時～ 11 時 20 分に、5 つの分科会を行います。詳細な案内を作成しました。<https://www.ombudsman.jp/taikai/2019/bunkakai.pdf> 1 日目 28 日（土）16:15～16:40 明るい警察を実現する全国ネットワーク報告もあります。

全国大会の申込、当日でもまだ間に合うか、との問い合わせを毎日いただいております。準備の都合で受付名簿や名札作成の作業に入ります。申込がまだの方は、当日申込、当日払いで受け付けます。どうぞご参加ください。<https://www.ombudsman.jp/taikai> 参加費：5,000 円（資料代

込み) ホテルは各自お取り下さい。

2019年9月29日(日)9:00~11:20『市民と警察』分科会~裁判から見えて来る日本の警察の絶望的な現実~明るい警察を実現する全国ネットワーク

報告:秋田弁護士刺殺事件国賠訴訟 弁護士/近江直人 原告/津谷良子

2011年11月初め、明け方の自宅で、2人の警察官の目の前で弁護士が殺害された。秋田地裁は県警の勝訴。仙台高裁秋田高裁は原告の逆転勝訴。いま、秋田県が最高裁に上告中。マスコミが報じない、驚くべき事件の真相、呆れる裁判の現実。

報告:岐阜県警大垣署警備課事件国賠+抹消請求訴訟 弁護士/山田秀樹 原告/船田伸子

大垣警察署で公安警察が中部電力子会社と密談していたあきれた内容が新聞にスクープされた。県警は「何が悪いんだ!」と開き直り、警察庁は「訴えの対象が明確じゃない」と裁判の土俵に上がろうとしない。どっちも逃げ腰。公安警察活動を真正面から問う訴えに裁判所は大迷走中。

パネルディスカッション解説+分析:原田宏二(元警察官) 進行:清水 勉(警察ネット) パネリスト:近江直人、津谷良子、山田秀樹、船田伸子

■19/6/15(土)日本の表現の自由は大丈夫か!? 共謀罪・秘密保護法を考える市民のつどい

- ・日時:2019/6/15(土)14時~17時
- ・会場:京都弁護士会館地階大ホール <https://www.kyotoben.or.jp/access.cfm#kyotoben>
- ・講師:原田宏二さん(元北海道警察幹部)、新海聡さん(全国市民オンブズマン連絡会議事務局長)、藤田早苗さん(エセックス大学人権センターフェロー)
- ・先着150名 申込不要 入場無料
- ・主催:京都弁護士会 <https://www.kyotoben.or.jp/event.cfm#10000008>

19/4/10(水)判決報告集会「警察の使命 市民の安全が最優先」

~秋田・弁護士殺害事件高裁判決を読み解く~

2010年11月4日未明、秋田弁護士会の津谷裕貴弁護士が自宅で殺害されてから8年余り。仙台高等裁判所秋田支部は、2019年2月13日、第一審判決を破棄し、現場の警察官の過失を認める逆転勝訴判決を下しました。判決の中に、「警察官としては、被疑者の逮捕よりも国民の生命身体を保護を優先すべき」という一文があります。本報告集会では、警察の使命とは何か、という視点で高裁判決を読み解きます。皆様の、多数のご来場をお待ちしております。

- ・2019年4月10日(水)18:00~20:00
- ・会場/主婦会館プラザエフ 9階スラン <http://plaza-f.or.jp/index2/access/>
- ・■プログラム 活動報告『弁護団の活動と国賠訴訟判決の解説』近江直人(秋田弁護士会)
- ・■プログラム パネルディスカッション
 - ・●パネリスト
 - ・津谷良子(故津谷裕貴弁護士の妻)
 - ・青木理(ジャーナリスト)
 - ・近江直人(秋田弁護士会)
 - ・●コーディネーター

- ・清水勉（東京弁護士会，明るい警察を実現する全国ネットワーク代表）
- ・費用／参加無料
- ・申込／予約不要
- ・定員／150名
- ・チラシ <https://www.ombudsman.jp/policedata/190410.pdf>
- ・主催：故津谷裕貴弁護士の会（代表）弁護士吉岡和弘
- ・共催：明るい警察を実現する全国ネットワーク
- ・連絡先：〒013-0051 秋田県横手市大屋新町字太平 593-1 弁護士法人近江法律事務所（事務局長）弁護士近江直人 TEL0182-33-3238 FAX0182-33-2753

19/1/19（土）対警察裁判のふしぎ 警察の不正に対峙できない裁判官（東京）

警察官の違法な活動が止まらない。被害を受けた人はやっとの思いで裁判を起こし、裁判所に公正な裁きを期待する。実際に裁判を起こし、警察に勝った手応えを実感できることがある。それでも、判決は原告のボロ負け。なぜだ。裁判官が警察官の違法な活動を野放しにし、警察官の質をさらに下げる。

- ・日 時：2019年1月19日（土）午後1時30分～4時30分
- ・【開場】午後1時15分
- ・場 所：主婦会館プラザエフ3階・コスモス（東京都千代田区六番町15）
 - ・JR 四ツ谷駅・麹町口前【交通】JR 四ツ谷駅徒歩1分，地下鉄丸の内線・四ツ谷駅徒歩3分 地下鉄南北線・四ツ谷駅徒歩3分
- ・参加費：1000円（資料代）
- ・内 容
 1. 報告：私戦予備陰謀被疑事件（警視庁公安部外事三課）
 2. 報告：公安警察による個人情報収集事件（岐阜県警＝警察庁）
 3. 報告：違法職務質問事件（警視庁）
 4. パネルディスカッション：対秋田県警国賠訴訟の一審判決といま 目撃者の目撃事実を認定しようとしぬ裁判官「秋田県警だから仕方ない」（判決）でいいのか？！原田宏二氏（元北海道警警察官）・近江直人氏（原告代理人）津谷良子氏（原告）
- ・チラシ <https://www.ombudsman.jp/policedata/190119.pdf>
- ・主催：明るい警察を実現する全国ネットワーク
- ・問合せ先：03(3353)3399（さくら通り法律事務所）<https://www.ombudsman.jp/akarui>

18/9/1-2 全国市民オンブズマン新潟大会 分科会「共謀罪と公安警察」

全国市民オンブズマン連絡会議は2018年9月1日（土）13時～17時、9月2日（日）9時～11時40分に新潟ユニゾンプラザ 多目的ホールにて第25回全国市民オンブズマン新潟大会を開催致します。<https://www.ombudsman.jp/taikai>

9月2日（日）9時～11時40分には、以下3つの分科会を開催致します。（1）共謀罪と公安警察
 （2）情報公開セミナー （3）政務活動費と海外視察
<https://www.ombudsman.jp/taikai/2018bunkakai.pdf>

全国大会・分科会申込は上記ページから可能ですが、当日参加も可です。ぜひご参加下さい。

2018年9月2日（日）9:00～10:50（5階特別会議室）共謀罪と公安警察～市民の自由と社会秩序の在り方を考える～

明るい警察を実現する全国ネットワーク

2020年のオリンピックの東京開催、いちばん喜んだのはだれだ！

決まった翌日のテレビのニュース「オリンピックを狙った国際テロ対策が必要だ」と、警察のテロ対策訓練風景これで公安予算は大幅に増額

『絶対安全なオリンピック』を実現するためなら何をしてもいい、いくら予算を使ってもいい、というおおらか都民、国民そのおおらかさが取り返しのつかない仇になる一旦増えた公安予算はオリンピックが終わっても減らない一旦強化した監視の仕組みはそのまま定着し、さらなる強化に進む

困ったことに公安警察の活動はもともとときわめて不透明弁護士と検察官は蚊帳の外令状裁判官は公安警察の協力者マスコミは沈黙するか公安警察の応援団

フリージャーナリストの取材成果を狙う公安生活に根差した様々な要求や要請活動をする人々を監視する公安前代未聞の私戦予備陰謀罪被疑事件捜査、公安警察活動が露見した岐阜県警大垣署事件の実態を知るところから始める

市民オンブズマン的対抗策を考える

講演＋助言：原田宏二さん（元警察官）

■ 17/12/16(土) 警察を異常なまでにかばう裁判所の異常！無罪判決よりむずかしい、警察相手の国賠訴訟の現実（東京）

警察のあまりにも無謀な捜査、異常な活動。警察を信じている市民は、「まさか！」と驚き、怒り、実態を明らかにしたいと、国家賠償請求訴訟を起こす。裁判官は中立公正。ときには、被害者（原告）に同調するような態度さえとる。「警察はダメでも、さすが裁判官はちがうなあ」。そう信じた先にとんでもない結末（判決）が待っている。しかも、それは例外ではなく、常態！その現実と構造を考える。

- 1. 日 時：2017年12月16日（土）午後1時30分～4時30分【開場】午後1時15分
- ・ 場 所：スクワール麹町・3階 錦（東京都千代田区麹町6-6） JR 四ツ谷駅・麹町口前【交通】JR 四ツ谷駅徒歩30秒，地下鉄丸の内線・四ツ谷駅徒歩3分 地下鉄南北線・四ツ谷駅徒歩1分
- ・ 参加費：1000円（資料代）
- ・ 内 容
 - ・ 原田宏二氏傘寿祝い記念講演「私がみた警察捜査の正体」原田宏二氏（元北海道警釧路方面本部長）
 - ・ 報告：「長崎県警・けん銃摘発無令状捜査」堀 敏明（弁護士）「秋田県警・弁護士刺殺事件」近江直人（弁護士）＋津谷良子（原告）
 - ・ 討論：警察に勝っても裁判官に勝てない国賠訴訟の“壁” 原田氏、堀弁護士、近江弁護士、津谷氏
- ・ 主催：明るい警察を実現する全国ネットワーク
- ・ 問合せ先：03(3353)3399（さくら通り法律事務所）
<https://www.ombudsman.jp/policedata/171216.pdf>

16/12/31 以前の過去のニュースもあります

警察問題についてのメールフォーム（匿名投稿様式）をつくりました (05/7/5)。

<https://search.ombudsman.jp/police/mail.html>

明るい警察を実現する全国ネットワーク活動中

2004年10月23日に、元警察官と弁護士で結成しました。[詳しくはこちら](http://www.ombudsman.jp/akarui/)。ホームページ開設しました。<http://www.ombudsman.jp/akarui/> カンパ・賛助会員募集中です。また、各地でシンポジウムを行います。参加はどなたでも可能です。

ニュースのバックナンバー インターネット上で公開中

明るい警察を実現する全国ネットワークの活動を広く知って頂くため、ニュースのバックナンバーをインターネット上で公開します。(10号まで全ページ掲載)

はじめに

このページって何のページ？

新聞報道等でご存知のように、北海道警や高知県警や愛媛県警、福岡県警などで、捜査報酬費が不正に流用されていたという疑惑が浮上してきました。北海道警や静岡県警ではカラ出張を行っていた疑いもあります。この問題は全国的にまん延している可能性があるため、全国市民オンブズマン連絡会議に加盟している各団体がそれぞれの県警に対して追及し始めました。このページは、その現在の状況をまとめたものです。よくある質問は警察よくある質問にまとめました。

あなたにできること

- ・リンク大歓迎
 - ・リンクはご自由にどうぞ。できれば、<http://www.ombudsman.jp/police/> にお願ひします。リンク後、ご一報いただけますと幸いです。引用も、出典を明らかにしていただければかまいません。
- ・カンパ大募集中(明るい警察を実現する全国ネットワーク)
- ・違法支出についての情報や、効果的な情報公開請求の方法、質問趣意書の見本などを募集しています。メールやFAX、手紙などでお寄せください。メールフォーム(ホームページ上でメールが送れる)もあります。
- ・各地の市民オンブズマンも会員を募集しています。近くの市民オンブズマンに一度ご連絡下さい。

各県警返還額一覧

元警察官の告白や、マスコミの報道、さらに各地の市民オンブズマンの追及によって、各都道府県警で不正支出分を認め、返還される例が出てきました。分かる範囲で集計していきたいと思えます。詳しくはこちら[各県警返還額一覧](#)へ。

各県警返還額(すでに返還した額) 1,222,234,259 円(2007/12/21 現在)

北海道警・岩手県警・静岡県警・愛媛県警・高知県警・福岡県警・宮崎県警で合計 1,222,234,259 円(2007/12/21 現在) 返還しました。

- ・2007.12.21 宮崎県警 「預け」852,517 円を返還
- ・2006.12.22 高知県警 県費 + 国費捜査費 9,772,342 円を返還
- ・2006.11.9 高知県警 県費 4,477,392 円返還
- ・2005.12.28 愛媛県警 国費・県費 161 万 414 円を返還
- ・2005.11.22 北海道警 国費 599 万 8665 円追加返還
- ・2005.7.28 愛媛県警 県費 94,127 円返還
- ・2005.6.10 北海道警裏金 4968 万 8392 円追加返還
- ・2005.3.31 福岡県警 県費 22,587,463 円を返還

- ・ 2005.3.14 愛媛県警 不正支出 県費分 17万8015円返還
- ・ 2005.2.28 福岡県警 不正支出 国費分 1億9353万1723円返還
- ・ 2005.2.18 北海道警 不正支出 国費分 6億5081万6059円返還
- ・ 2004.12.28 北海道警 不正支出 道費分 2億5608万9857円返還
- ・ 2004.11.8 岩手県警 344,494円 県に返還
- ・ 2004.10.6 静岡県警 13,110,000円返還
- ・ 2004.7.30 福岡県警 3,909,236円返還
- ・ 2004.6.30 静岡県警 10,267,010円返還

各県警返還予定額（今後返還する額）岩手県警 1898 万円 + 熊本県警 46,536 円 + 千葉県警 2486 万円 + 神奈川県警国費分 1 億 5753 万円 + 福井県警 270 万円 + 石川県警 300 万円 + 山形県警 336 万円 (2010/10/1 現在)

- ・ 山形県警報道資料 10/9/28

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/keisatsu/800002/tyousakekka.html>

- ・ 石川県警報道資料 10/7/2

http://honbu.police.pref.ishikawa.lg.jp/keimu_bu/kaikei/keiri.pdf

- ・ 福井県警報道資料 10/2/10

<http://www.pref.fukui.jp/kenkei/kemubu/kaikei/keirityosa.pdf>

- ・ 岩手県警報道資料 10/2/8

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0802/oshirase/kaikei/hutekisetsukeiricyousahoukoku/22.2.8.pdf>

- ・ 岩手県警報道資料 09/10/15
 - ・ <http://www.ombudsman.jp/policedata/iwate091015-1.pdf>
 - ・ <http://www.ombudsman.jp/policedata/iwate091015-2.pdf>
 - ・ <http://www.ombudsman.jp/policedata/iwate091015-3.pdf>
- ・ 岩手県警報道資料 08/11/25
 - ・ <http://www.ombudsman.jp/policedata/iwate081125.pdf>
- ・ 神奈川県警発表資料 10/2/5
 - ・ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/11/1100/futekiseikeiri/bousaikeisatu.pdf>
- ・ 千葉県警発表資料 10/2/4
 - ・ <http://www.ombudsman.jp/policedata/chiba100204.pdf>
- ・ 千葉県警発表資料 09/9/9
 - ・ http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/a_soumu/gyokaku/keiri/houkoku.pdf
- ・ 熊本県警の報道資料 (09/2/20 づけ)
 - ・ <http://www.police.pref.kumamoto.jp/upfiles/1/5/2009022386.pdf>

その他の資料

左側のメニューに一覧があります。

- ・ 県警捜査報償費「捜査諸雑費」全国一斉請求 11/29。
- ・ 2004/6/7 付け一斉請求の偽名領収書の公開請求 (04/12/22)
- ・ 警察分科会で発表された資料
- ・ 訴訟一覧全国市民オンブズマン連絡会議が関係する、警察に対する訴訟一覧を掲載しました。
- ・ 全国大会警察分科会
- ・ 参考資料各種

ページ一覧

更新順に並んでいます。データは PDF 置き場 にリストがあります。